

平成29年（2017年）度

## 事業計画書

自 平成29年（2017年）4月 1日

至 平成30年（2018年）3月31日

平成29年（2017年）3月

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

## I. 事業計画基本的考え方

現在の世界は、政治・経済の両面から非常に大きな変化の端緒にあると考えられる。営々と築き上げられてきた国際協調の枠組みは、今後大きな試練を迎えることが予想される。無論こうした動きは、政治の有り様だけではなく、現実の経済にも多大な影響を与える。この試練に打ち勝って国際協調の枠組みがより強固なものとなるのか、それとも現状に変わる新たな国際環境が登場することになるのか。予断を持たずに注視していくことが必要である。

目をタイヤ産業に移せば、タイヤはグローバルな商品であり、これを製造、販売するタイヤ産業もまたグローバルな産業である。タイヤという商品に対する期待は大きく、世界のタイヤ市場は今後とも確実に大きく伸張していくことが予想される。タイヤに対するこうした期待と市場の伸長に係る予想は、今後の世界の政治や経済を巡る変化がどのようなものであっても、決して変わることはないと考える。

上記認識に基づき、迫り来る大きな変化に的確に対応しつつ、世界のタイヤ市場が公正、かつ、効率的に発展するよう、世界の中で相応の地位を占めるタイヤの製造事業者の団体として、必要な事業に積極果敢に取り組む。

国内に目を向ければ、国内市場の成熟化と生産体制のグローバル化の中で、今後の国内需要が大きく伸長するとは考え難い。しかしながらタイヤという商品の生産や提供が日本の経済や社会に与える影響は大きく、その影響の大きさに見合う責任を果たして行くことが必要だと考える。公益法人たる本団体がこうした観点から取り組むべき活動の基軸は、従来と変わることなく「安全」と「環境」である。

安全対策については、4月8日の「タイヤの日」を中心としたタイヤ点検の実施を通じ、空気圧管理の重要性や適正使用・整備の必要性に関する啓発を続けていく。また、冬道での安全走行確保に向け、冬用タイヤの装着の啓発に関しても継続して取り組む。

環境対策については、製販一体での廃タイヤ適正処理をこれまでと同様に推進するとともに、原状回復支援制度による地方自治体への支援を通じて廃タイヤ不法投棄問題の解決に貢献する。また、低燃費タイヤに係るラベリング制度の運用により低燃費タイヤの普及を図ることで、自動車走行時のCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献していく。

これらの活動を通じ、日本の経済や社会の持続的な発展に貢献する。

## Ⅱ．事業計画概要

### 1．統計・知財

- ・自動車タイヤの需要動向調査及び各種統計データの作成、研究
- ・知的財産権に関連する諸テーマの調査、研究

### 2．規格及び基準

- ・JATMA YEAR BOOK(自動車タイヤの諸元規格)の作成、頒布
- ・各国タイヤ基準認証制度、ラベリング制度等への対応
- ・安全基準の統一や国際機関・海外各国政府及びタイヤ関連諸団体との調整、連携の促進

### 3．安全対策

- ・「タイヤの日」(4月8日)を中心に空気圧管理を始めとするタイヤの適正使用、適正整備等安全啓発活動の推進
- ・一般道路及び高速道路における路上タイヤ点検の実施
- ・冬道安全走行に関する啓発
- ・損傷タイヤの検査判定及び消費者相談並びに警察当局等の依頼による、検査、鑑定等への協力

### 4．環境対策

- ・地球温暖化対策の推進
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の総合的推進及び原状回復支援
- ・タイヤ転がり抵抗低減に関する対応と安全性(ウェットグリップ)の両立
- ・タイヤラベリング制度の運用と低燃費タイヤ等の普及広報

### Ⅲ. 事業計画

#### 1. 総務委員会

統計調査部会、広報部会、知的財産部会を統括。会長、理事会の諮問事項の検討及び総合調整、企画立案及び協会運営事項並びにいずれの委員会にも属さない項目の審議・検討

##### 1-1 統計調査部会（各種統計の作成、市場調査及び需要予測）

###### 1) 統計関係

- ◆ 2017年 自動車タイヤに関する各種統計の作成及びホームページへの掲載  
(自動車タイヤ生産・出荷・在庫統計/新車用・市販用タイヤ販売実績/原材料消費実績/輸出入通関実績他)
- ◆ 2017年 自動車タイヤに関する各種統計基準の検討
- ◆ 2017年 自動車タイヤに関する統計年報(季報)の作成  
(タイヤ関連指標統計表/自動車タイヤ統計資料/自動車タイヤ需給動向)
- ◆ 2017年版(2016年実績)「日本のタイヤ産業」ホームページ原稿作成

###### 2) 調査関係

- ◆ 2017年 冬用タイヤ出荷・在庫等調査報告書の作成
- ◆ 2017年 自動車タイヤ品種別在庫調査

###### 3) 国内需要予測関係

- ◆ 2017年 自動車タイヤ国内需要本数の年央見直し
- ◆ 2018年 自動車タイヤ国内需要本数の見通し

###### 4) 関連統計の収集・作成

- ◆ 2017年 自動車生産・国内・輸出・在庫・保有台数統計
- ◆ その他自動車タイヤ関連統計

##### 1-2 広報部会（自動車タイヤの一般広報、適正使用の啓発等）

###### 1) 自動車タイヤの一般広報

- ◆ JATMAニュース等の作成・配布による業界の取組み・活動に関する情報提供
- ◆ 「日本のタイヤ産業2017」(和・英版)のホームページへの掲出

- ◆ タイアラベリング制度の周知・広報活動の継続
- ◆ 内閣府・日本自動車タイヤ協会連名「春・秋の全国交通安全運動告知ポスター」の作成、協力
- 2) 「4月8日タイヤの日」の啓発活動
  - ◆ 空気圧点検啓発ポスターの作成・配布
  - ◆ ノベルティを作成し、タイヤ点検会場やイベントにて配布
  - ◆ 「FACT BOOK」を編纂し、メディア配信・PR活動を実施し、取材対応を実施
- 3) 自動車タイヤの安全、適正使用等のPR
  - ◆ 使用管理リーフレットを作成し、ノベルティで同封配布し、空気圧管理等の啓発活動を実施
  - ◆ 冬用タイヤ装備の訴求・啓発活動の継続
- 4) 協賛・出展対応
  - ◆ 関係省庁等主催による環境・交通安全等関連イベントへの協賛・参加

### 1-3 知的財産部会

- ◆ 日本及び中国関係当局等との意見交換会の実施
- ◆ 模倣品調査(現有情報の交換・共有化)及び実態調査・情報収集
- ◆ 知的財産問題の情報交換・共有化等

## 2. 技術委員会

設計、タイヤ基準・認証、タイヤ道路騒音・性能試験、材料規格、タイヤ検査事故防止、の各部会及びタイヤ規格委員会、JATMA等級制度検討委員会を統括し、技術、安全、環境に関する諸事項を管掌する。

### 2-1 設計部会 (タイヤの設計に関する諸事項)

- ◆ 日本自動車タイヤ協会規格 (JATMA YEAR BOOK) の審議
- ◆ 設計標準化ガイドラインのメンテナンス
- ◆ 新車装着用タイヤに関する諸事項の検討
- ◆ タイヤサイズの標準化及び品種削減等の検討
- ◆ ISO/TC 31 タイヤ関連会議への参画協力
- ◆ 欧州・米国タイヤ工業会との審議の推進

## 2-2 タイヤ基準・認証部会（タイヤの安全基準、環境規制、認証制度等に関する事項）

- ◆ 各国のタイヤ規制への対応（情報収集・分析、折衝）
  - ・自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）活動を通じた基準の国際調和の推進
  - ・WTO/TBT会合を通じた折衝への対応
  - ・各国政府機関への訪問・折衝
- ◆ 欧州・米国に加えインド・東南アジア等各国のゴム・タイヤ工業会との連携の推進
  - ・ETRTO/TAL及びWG/UNEC会合への参画
  - ・グローバルな業界間会議への参画
- ◆ 世界統一基準（タイヤGTR）検討への対応
- ◆ 国内におけるタイヤ単体騒音・ウェットグリップ・転がり抵抗規制の継続検討課題への対応
- ◆ 新車用タイヤに係る国内外の法規・認証に関する事項の関連業界との調整・説明

## 2-3 タイヤ道路騒音・性能試験部会（タイヤ道路騒音及びタイヤの性能試験に関する諸事項）

### 1) 騒音

- ◆ 関係官庁及び団体の委員会等への参画協力
  - ・自動車技術会 自動車騒音分科会（ISO/TC43/SC1関連）
  - ・自動車基準認証国際化研究センター騒音分科会（UN/R117関連）

### 2) 性能試験

- ◆ 欧州タイヤ単体規制への対応
  - ・ETRTO 各WG（ウェットグリップ・ウインター・トラクション）への参画
- ◆ ISO/TC31タイヤ試験法関連会議への参画協力

## 2-4 材料規格部会（自動車タイヤの材料規格等に関する諸事項）

- ◆ WBCSD/TIP（World Business Council for Sustainable Development/Tire Industry Project）との連携対応
- ◆ 人工芝ゴムチップに関する調査（諸外国動向等）
- ◆ タイヤ原材料の環境・安全に関する調査及びその対応
- ◆ ナノマテリアル等の国内外化学物質関連法規への情報収集・検討及びその対応

## 2-5 タイヤ検査・事故防止部会（損傷タイヤの検査・判定、適正使用のPR及び講習会の開催）

### 1) タイヤ検査事業

- ◆ 検査事業の充実
- ◆ 自動車用タイヤ等の損傷品に対する検査・判定業務の実施及び警察当局等の依頼による検査・鑑定等の協力

### 2) 事故防止事業

- ◆ 「自動車用タイヤの選定、使用、整備基準」及び他刊行物によるタイヤの適正使用、誤使用防止の啓発
- ◆ 冬道安全走行に関する啓発
- ◆ キャンピングカーユーザーへのタイヤの適正使用に関する安全啓発
- ◆ 路上タイヤ点検の実施
- ◆ 空気充てん作業時の事故防止活動の実施
- ◆ 整備管理者等講習会への協力（講師派遣、教材、資料の作成支援）
- ◆ タイヤパターン登録と「スタッドレスタイヤ、スノータイヤパターン一覧表」の作成及び各都道府県警察本部への配布
- ◆ 関係官庁・団体からの要請による各種イベントへの参画
- ◆ 後付け装置リコール制度への対応
- ◆ 大型車・車輪脱落事故防止等への対応

## 2-6 タイヤ規格委員会（JATMA YEAR BOOKに関する諸事項）

- ◆ 新サイズの審議とJATMA YEAR BOOKの改正
- ◆ JATMA YEAR BOOK 2017年版の頒布普及と2018年版の作成(含、英版)
- ◆ タイヤに関する国内外の標準化への協力

## 2-7 JATMA等級制度検討委員会（タイヤラベリング制度の適正運用・管理に関する諸事項）

- ◆ 「タイヤラベリング制度」（JATMA自主基準・平成22年1月運用開始）の適正運用・管理
- ◆ 定期モニタリングの実施

### 3. 環境委員会

環境部会、リデュース部会、リサイクル部会を統括、自動車用タイヤに係る環境全般にわたる課題への  
取組み及び廃タイヤ問題に関する諸事項を管掌

#### 3-1 環境部会（自動車タイヤの環境に関する諸事項）

- ◆ 地球温暖化問題、環境規制等についての情報収集と対応
- ◆ 国内外化学物質関連法規への情報収集と検討及び化学物質に係るフォロー対応
- ◆ 生物多様性条約・名古屋議定書に関する動向調査
- ◆ 人工芝ゴムチップに関する調査（諸外国動向等）

#### 3-2 リデュース部会（タイヤリデュースの推進）

- ◆ 軽量化、ロングライフ化の推進

#### 3-3 リサイクル部会（廃タイヤの回収・適正処理体制の整備及び法対応）

- ◆ 廃タイヤ適正処理の推進、廃棄物処理法への対応
- ◆ 大口広域利用先への安定供給の維持推進活動
- ◆ 不法集積・不法投棄の状況調査及び原状回復支援制度の運用